

臨床検査専門科目	病因・生体防御検査学					
		2単位	実習	平成30年度	前期	3年次
臨床検査学科	必修					
科目名	微生物検査学実習 Practice of Clinical Microbiology					
担当教員	◎小松方 中村彰宏					
目的	細菌、真菌を主体とした微生物学的検査の基本的な手技を習得する。具体的には、顕微鏡の基本的な取り扱い方や感染防御も含めた無菌的操作技術、滅菌・消毒法、分離培養法、生化学的および免疫学的検査を使用した微生物の同定法、染色・鏡検法を用いた形態学的手法による同定法を習得する。さらに分離培養法で得られた細菌の抗菌薬感受性試験と抗菌薬耐性因子の検出についても習得する。					
目標	1. バイオハザードの概念と、業務室内感染防止、安全キャビネットの使用法、滅菌および消毒について技術を習得する。 2. 各種細菌の染色法、分離培養法、確認培養法の技術と細菌の同定法を習得する。 3. 薬剤感受性試験法と各種抗菌薬耐性因子検査について習得する。					
他科目との関連	微生物検査学各論、微生物検査学実習					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	レポート	レポート評価点				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	臨床検査学実習書シリーズ 微生物検査学実習書 医歯薬出版（新規購入） ISBN978-4-263-22328-4					
参考資料	微生物学/臨床微生物学（臨床検査学講座）第2版 医歯薬出版 図解臨床細菌検査 文光堂 臨床微生物検査ハンドブック第3版 三輪書店 新カラーアトラス微生物検査（Medical Technology別冊） 医歯薬出版					
備考 （受講上注意、 事前学習等）	微生物を取り扱うため、感染防止に留意すること。					